

第7回 北部地区街づくり協議会 議事録

開催日時	平成30年8月24日（金）18：30～20：00								
開催場所	櫛本公民館 大会議室								
出席委員	委員 13名								
欠席委員	福西委員、米杉委員、山口委員								
事務局	総合政策課3名、産業振興課2名、農林課1名								
議事内容									
<p>1. 開 会 ー18：30ー</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>会長</p> <p>第7回の北部地区街づくり協議会は今年度一回目ですが、今年も北部地区においては尾関会長を始め櫛本校区の皆さまのご尽力によりまして、町カ塾や櫛旅など素晴らしい進化を遂げているかと思えます。先般の灯火会も見させていただきました。従来から大切にされている行事についても地域の絆づくり、また、子ども達にとっての夢応援にも繋がっているのかなと考えています。蔵之庄町の案内板など各プロジェクトについても進んでいるところですので、今年度の進捗と今後の進め方について議論させていただきたいと思えます。</p> <p>3. 新委員の紹介</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">蔵之庄商工連盟会長</td> <td style="width: 50%;">森田 正 様</td> </tr> <tr> <td>櫛本小学校PTA会長</td> <td>角谷 尊慎 様</td> </tr> <tr> <td>奈良県ならの観光力向上課長</td> <td>福井 弘人 様</td> </tr> <tr> <td>奈良県農業協同組合櫛本支店長</td> <td>山口 芳嗣 様</td> </tr> </table> <p>4. 議事録の承認</p> <p>第6回協議会の議事録につき、異議なく承認された。</p> <p>5. 議 事</p> <p>以下、議事進行は会長が進める。</p> <p>(1) 地元連携</p> <p>会 長</p> <p>地域の皆さまに主導的に進めていただいている各事業の進捗について共有したいと思います。北部活性化プロジェクト委員会についてからお願いします。</p> <p>委 員</p> <p>北部活性化プロジェクト委員会と今年度の櫛旅について説明させていただきます。北部活性化プロジェクト委員会ですが、毎月第二月曜日に公民館で開催しておりまして、その中で、組織を</p>		蔵之庄商工連盟会長	森田 正 様	櫛本小学校PTA会長	角谷 尊慎 様	奈良県ならの観光力向上課長	福井 弘人 様	奈良県農業協同組合櫛本支店長	山口 芳嗣 様
蔵之庄商工連盟会長	森田 正 様								
櫛本小学校PTA会長	角谷 尊慎 様								
奈良県ならの観光力向上課長	福井 弘人 様								
奈良県農業協同組合櫛本支店長	山口 芳嗣 様								

はっきりと明確にして規約を作っていこうという案が浮かび上がりまして、現在作っているところです。内容は大体決まりましたが、役員については休まれたりするので、まだ確定していませんが、現在は 24 名が実行委員会に入っています。9月の第二月曜日の委員会の時に正式に発足させていただこうと思っております。

今年度の第4回樺旅ウォーク&まこもフェスティバルの概要ですが、10月28日に開催します。開催時間は9時30分から14時の時間になります。今年度はJRのふれあいハイキングの雑誌に掲載させていただきまして、100名限定という形で市外県外の方をターゲットとし、帯解駅をスタートとして伝・山の辺の道を中之庄町、和爾町、樺本町と巡っていただきゴールの樺本公民館に着くというルートになっています。公民館では音楽フェスティバルや樺旅手作りフェスタも開催します。樺本の特産品ということで、今年は、まこもかやくご飯を300食販売する予定です。樺本の校区の方には樺旅フォトウォークという形でスマホを使って色んな写真を撮っていただき、その中から素敵な写真を撮影した方8名に景品を贈呈します。多くの方が参加すると写真の選定に時間がかかりますので、100組限定とする予定です。ここで撮られた良い写真をe~やん天理などにも掲載していただくことで、樺本の情報発信ができるのではないかと考えています。また、樺旅ハローワークでは小学生5、6年生を対象として模擬店の手伝いを募集させていただきます。15分のお手伝いに対して樺旅チケット1枚を渡し、地域の祭りに積極的に子ども達も参加していただくという形を町カ塾・夢応援プロジェクトと協力しながら実行していきたいと考えています。

会 長

ありがとうございました。続きまして、町カ塾と夢応援プロジェクトについて報告をお願いします。

委 員

今回から参加の委員もおられますので簡単に説明します。町カ塾は月1回放課後公民館で開催しており自主的に勉強する塾です。昨年は、4年生は半数近くの生徒が参加してくれました。5年生は3割近くが参加、6年生も3~4割が参加していました。今年も3~4割の子どもが参加しています。また、夏休み最後の町カ塾が8月28日にありますが、終了後に地域の方々が子ども食堂をやっていただきます。樺本の日赤奉仕団の方々が中心になって、民生児童委員さんの協力も得てカレーを作っていただきます。

続きまして、夢応援プロジェクトの報告に移ります。夢応援プロジェクトですが、昨年夢応援を行った資料が、P4になります。こちらの方は町カ塾や地域貢献をすることでポイントが加算され、その加算されたポイントの高い上位10名から夢応援申請をしていただき5種類くらいの夢応援を決めて実行しています。H29年度はパティシエール、プログラマー、獣医・トリマー・飼育員、保育士、衣装作家の5種類をおこないました。夢応援プロジェクトは前回も報告したように北部活性化プロジェクトの中に樺本子ども夢応援プロジェクトという組織を作りまして、今年度からは昨年度より行っている夢つなぐプロジェクト、6年生を対象としてマチカポイントと

櫟旅ポイントを合算した天櫟ポイントの高い10名に夢応援申請書を提出してもらい、先程説明しました通り、4～5種類に選択して体験を行います。申請にもれた子ども達も参加できるようにしています。少数で夢の体験を行なうことで夢を持ちながら中学校生活を送れるようにと思っています。イベントに参加した6年生の代表の方に5年生へ夢の体験へのプレゼンをしてもらい下級生に引継ぎのバトンを渡して貰おうと考えています。今年度から新しくおこなう夢ひらくプロジェクトはポイント関係なしに5、6年生を対象にして将来なりたい目標や夢を5月に書いてもらいその中から2、3種類を選別して希望者全員に実技を含めた体験をしてもらいます。内容的にはプロフェッショナルを招聘し実際の技術を見てもらい夢に向かって努力する大切さを感じてもらい、夢を見つけるという志しを高めることに繋げていきたいと思っています。見学者につきましては、このプロジェクトの正会員とサポーター会員や地域の方にも参加を呼び掛けて、地域のネットワークで子どもたちの夢を応援することで、大人の繋がりも強くし地域の活性化を図り、さらには夢応援プロジェクトの会員増を目指しています。今現在の会員数ですが正会員・サポーター会員併せて103名です。民生児童委員さんと櫟本校区区長会さんの2団体が会員になっていただいております計307口の協力を得ています。

今年度の夢ひらくプロジェクトでは10月23日にデザイナーってどんなお仕事。と言う内容で講師は graf の服部さんにお越しいただきます。11月15日は野球選手ってどんなお仕事。と言う内容でプロ野球選手を招いて行なう予定をしております。

委員

昨年は子どもの夢を応援する事業のみを行いました、その時に子どもに将来なりたいものは何かと聞いた時にまだはっきりと夢が定まっていない子もたくさんいました。それならば事前こんな仕事もあるよという職業紹介ではないですが、プロフェッショナルを呼んで紹介をしたいと思いついて夢ひらくプロジェクトを行なうことになりました。ただ、子ども達の夢を叶えるとなると資金が必要になってくる。助成金などもお願いしていますが、やはり地域住民の子どもは地域の宝と認識していただくならば広く櫟本の方に応援していただくのが筋であると思っています。これを継続して卒業した子が大学生になって、その時に町カ塾に帰って来て講師として子ども達に教えてもらうという循環を生み出したいと思っています。一時失われた地域との関わりも復活するのではないかと考えています。

委員

夢応援プロジェクト事業に関わっている人間には会員・サポーター会員などが理解できますが、関わっていない人間にはまだわかりにくいところがあるのかなと思います。ただこれは、やっていかないと広まっていけないことでもあると思います。また、子どもは地域の宝ではありますが、そのことをみんなに共有してもらうためにどうしたら子どものことを知って貰えるかイベントなどで少しずつ広まっていけば、もっと会員の集まりにも勢いがついてくるのかなと思います。

委員

子ども達のために一生懸命やっけていただいているので、区長会としてもできるだけ補助をしていきたいと思っています。

会 長

6、7年続けば今小学校6年生が大学生になって講師になることが実現するかなと思います。そして、先程発言ありましたが、関わっていない人に事業の内容をわかっていただけるにはどうしたらいいかと言う問題提起もありましたが、何か良い案がありますでしょうか。

委 員

少し補則として、子ども夢通信というものを定期的におこなっていきまして、前回1号を発行させていただき、町カ塾の内容も事細かに書いておりまして、サポーター会員にはポスティングしました。それが、口コミで広がっていけばいいのですが。

委 員

広めるとか口コミでとかいうのは、まず樺本の各種団体がもっと動いていただかないと広まらないかなという気がしておりまして、長寿会、交通安全協会など色々な団体がありますので、今会員になっている団体は2団体ですが、商工会も関わっていただいていますし、もっと団体の方にも動いていただければ広まっていくのかなと思います。子どものいる保護者はわかっていることですので、そういうことを粘り強くしていただければと思います。もう一つ、学校と地域が強力にタッグを組んで進んでいるプロジェクトでなかなか他にはない、他の地域はやりたくてもできないプロジェクトです。その中で素晴らしい内容がたくさんありますが、町カ塾に関して特に思うことは、子ども達のいきいきした姿をみて主体的、自主的にしている姿と確実に自己肯定感が上がっているなという印象を受けました。プリントの内容も学習面でもものすごくプラスになっていると思います。わからない時は学年を下げたプリントを選んで少しずつ進んでいっているのでこんなに素晴らしいプロジェクトはないなと思っています。

委 員

各団体の協力で補足ですが、樺本商工連盟さん、蔵之庄商工連盟さんには一応いただいております。先般の祇園祭で蔵之庄商工連盟はコロケ、樺本商工連盟はビールを販売されまして、その収益金の一部を寄附いただきました。体育協会さんにも協力していただき9月9日におこなわれる校区の運動会で、子ども達が競技に参加すると樺旅チケットを景品の代わりに配布していただくことになっています。樺本の各種団体さんにも協力はいただいているところです。

委 員

どんどん樺本の独自性を出されて広がって行っているなと毎回思いますので、紹介した側としても非常に嬉しいです、独自のものを展開されているなと思います。一つ質問ですが、今は勉強がメインですが地域の活動に参加してもらえますか。

委 員

そうです。今のところは、はにわ祭りでの案内、夏休みの雑草刈り、校区の運動会の準備になります。

委員

そういうところにもすごく広がり始めているので、いいプロセスを歩んでおられるなどと思います。他にも地域だけでなくコフフンでのイベントでお手伝いとか、天理のブランドモノづくり関係で販売するときのお手伝いとか、まこもたけの農業のお手伝いとか、もう少しそういう色々なパターンがメニュー化されて無理なくできるような自然と街の関係に溶け込ませていき、今皆様がやっている体験型のものがプロフェッショナルだけでなく、街のプロの方から教わるという形ができてもいいのかなと思いました。

会長

子どもがポイントを得る機会を活用して関わっておられる方も広げていこうという提案かと思えます。

委員

櫛本夢応援プロジェクトは子ども達をメインとしながらも櫛本の魅力を発信していくことを目標としていますので、これが数年続いて子ども達が地域に関わる機会が増えていくとするならば、櫛本は子育てをしやすい街だということで何か特別感をこれから進んでいく中で行政の中でも出していただければと思います。

会長

現在でも、他校区で櫛本モデルと言っておりますが、今後なにが出来るかは皆さまとご相談をしていただければと思います。

委員

先程草刈りの話が出ましたので、一点報告させていただきたいのですが、先週 PTA 主催の学校の奉仕作業を行いまして、4年生以上の子どもさんは参加していただいていたんですよということで、参加していただいた子どもにもポイントがもらえることになっています。奉仕作業はなかなか出席がすくないということで、学校の先生方もどうしたらいっぱい来てくれるだろうと試行錯誤しているところです。集計はまだ出来ていませんが、見た感じでは子ども達が例年より多いのではないかと感じています。これも一つの繋がりの中での良い循環になっていけばいいなと思いました。

会長

ポイントがあることによってすでに広がってきているかと思えます。今後の発展に向け建設的な意見が色々でましたので、引き続きよろしく願いいたします。次ですが、トラックマルシェについてご説明をお願いします。

委員

昨年、プレという形で 11 月 3 日に高井病院さんの協力の下、高井病院さんの駐車場でトラックマルシェを開催しました。予定の 200 名を遥かに上回り、15 分、30 分で売り切れてしまいました。今年は 11 月 4 日に開催する予定です。目的としますのは、地域の方々が色々なものを出店され、収益をあげてもらふことと、トラックマルシェを開催することで、1年以上も会ってい

ない住民の方々がこの場で会って、ただ買い物をするだけでなくそこで会話などをする事で再び繋がりをもっていただきたいと考えています。蔵之庄町のサロンつなかりに来られた講師の方が健康寿命を延ばすには人と人の繋がりが一番だと仰っておられ、やっている事業は間違い無いと思いました。

会 長

ありがとうございます。では次の地域総活躍まちづくり提案事業助成金の活用についてに入りたいと思います。事務局説明をお願いします。

事務局

説明させていただきます。地域総活躍まちづくり提案事業助成金につきまして昨年度は、町カ塾と櫛旅にそれぞれ25万円の助成をさせていただきました。今年度は夢応援プロジェクトで1件申請をいただいております、現在手続き中です。予算は2枠ございまして、もう1枠についてはまだご提案いただいておりますので、ご活用いただけますが何かご提案等ございましたらお願いいたします。

委 員

現在区長会で考えている事業がありますが、まだ発表段階ではありません。

会 長

では、次回の協議会でご紹介させていただければと存じます。続きまして、コフフンでの発信事例について事務局から説明をお願いします。

事務局

南部地区、高原地区でも街づくり協議会を開催しており、それぞれ、南部地区では9月15、16日にされる柳灯会のプレということで先週の金土日にコフフンで柳灯会のミニバージョンを開催し、周知、PRをおこなわれました。また、高原地区では福住町で氷祭りがおこなわれていますが、7月に取り出した氷を荷車に乗せてコフフンへ運びコフフンへの来場者に涼を取ってもらうというイベントをされ、校区や地元のイベントなどをコフフンを使って発信されています。先程発言もありましたが、北部地区でもコフフンを使って何か発信などを検討いただければと思います。市内の非営利の団体が地域活性化のために使われるのであれば減免対象となり基本無料でコフフンを使用していただけますのでご活用いただければと思います。

会 長

柳本の黒塚古墳に計4000灯の灯籠を並べてやっておられる柳灯会ですが、市内でも知らない方がたくさんおられます。福住町の氷祭りもそのようなことをやっているのかという部分もあり、それぞれ天理駅前広場コフフンでPR等をされているところです。櫛本につきましても櫛旅や灯火会やはにわ祭りなど行事をやっていただいておりますので、ぜひ発信もしていただければと考えておりますし、市内外の方がコフフンに集まって来ておられますので今はなくても今後ご検討いただければと思います。

(2) モノづくり

会 長

続きまして議案（２）モノづくりに進みます。市では天理ブランドモノづくり支援事業をおこなっており、昨年度、櫛本町から丹波屋善康さんが選ばれて、今までも商品が世に出ていくところです。試食用に丹波屋さんよりご提供いただきました。

【落雁の試食】

事務局

一昨年度から取り組んでおります、天理ブランドということで、天理の産品を広く市内外に発信しながらモノづくりの支援をするという取組みになります。一昨年、昨年と共に３品を認定させていただき、その内の１品が今試食していただいている丹波屋善康さんの落雁です。この落雁の大きな特徴はフレーバーを入れているところです。フレーバーを加えることにより、従来のお寺さんの法事の手土産から、普段のおやつ感覚で召し上がっていただくように裾野を広げて色々な方に召し上がっていただきたいという丹波屋さんの強い思いがありまして、今回このような商品を作られました。

委 員

一昨年のモノづくり事業に参加して思ったことは、デザインは非常に大事だなということです。リピーターのお客様でこのパッケージを見てカワイイからまず買って見た。使ってみてまた良かったからリピーターになったということがありましたので、やはりデザインは大事だと感じさせられました。

会 長

ありがとうございました。続いてマコモタケの発信について事務局より説明をお願いします。

事務局

マコモタケの発信ということで、昨年はマコモタケの幟を作成させていただきまして、櫛旅などのイベントで使用いただき、和爾の圃場でも PR をしていただきました。前回までの協議会で課題となっていました、マコモタケを学校給食に使えないかという件についてですが、まなび推進課と櫛本小学校の教頭先生と協議し、１０月中に櫛本小学校の給食に組み込む方向で話を進めています。販路につきましては、秋田屋さんとコトブキさんには従来から提供されていますが、駅前のパークサイドキッチンと大阪デリカフーズにも声をかけさせていただいております。供給に余裕があればそちらにも販売していただければと思います。

委 員

マコモタケにつきましては皆さん色々ご協力いただきありがとうございます。今年度につきまして、奈良の専門業者がマコモタケの葉っぱを青汁用とお茶用に購入したいということで、それ用に２０アール増やし合計４０アールの栽培をしております。

委 員

青汁は粉末ですか。

委員

生です。そのまま葉っぱをミキサーでかけて販売するという事です。

会長

農業関係では、最近市の方でも企業さんとの連携を強めていかないといけないということで、取組みをしております。事務局より説明をお願いします。

事務局

特産品のPRということで、外食産業とコラボしておりまして、モスバーガーさんとJAさんとに協力を願いまして、県内のモスバーガー店で6月19日から24日までの5日間限定の産直フェスタを開催し、天理市産のトマトを使ったハンバーガーを販売していただきました。次に今現在もやっております、餃子の王将さんで天理の2店舗でトマトとナス、特産品ではありませんが、オクラを使用した、てんりな華麗（カレー）ラーメンとてんりなま〜ぼの販売に取り組んでいただいております。

会長

天理インター店はすぐ近くで8月31日までやっていますので、ぜひお願いしたいと思います。“てんりな”と書くことで市民の皆さまに親近感を覚えていただいている。モスバーガーさんに伺うと、県の各地でも非常に好評だということなので、どんどん企業さんの発信力に乗っかる形でがんばっていければと思います。

事例としてもう1件農業関係で紹介したいと思います。産経新聞さんの7月の記事です。校区は櫛本ではございませんが、現在、石上でぶどうの栽培をされている方です。大阪の柏原市のワイナリーで取組みをされている内にワインを作ろうと人生の舵をきられました。法令上その地域の中で醸造していないと奈良ワインと名乗れないようで、県内でなんとか醸造も目指していきたいということです。ぜひ地元としても応援していきたいと考えております。今後ですが、こういった方とかも櫛旅などでも絡めていければと思っております。

(3) 周遊観光

次に周遊観光に移りたいと思います。蔵之庄町の観光案内看板について事務局よりお願いします。

事務局

蔵之庄町の観光案内看板について、ここ数年奈良帯解方面から伊勢街道、上ツ道を歩いて天理をぬけてハイキングをされる方が年々増えていっていますが、天理市の北の入口である蔵之庄町に観光案内板がないというのが現状でしたが、地元から観光案内板の要望がありまして、今年度看板の制作設置を含めて蔵之庄町の自治会へ委託をすることになりました。今年度中の完成を目指しています。内容については櫛旅マップを基に帯解、蔵之庄町、櫛本の名所を案内するような観光案内板を作成して頂くことになっています。

委員

櫟旅マップですが、櫟本の名所の掲載と在原業平と柿本人麻呂が櫟本の代表人物だろうと考えこのパンフレットを作成しました。櫟旅マップの活用ですが、JRの帯解、櫟本、天理、柳本の各駅に一万部くらいは配布しています。近鉄のハイキングですが、酒蔵めぐりということで、天理駅から帯解の豊祝さんまで歩くというツアーが7月14日に行われました。1000名の方が歩かれるということで近鉄さんからこの地図を1000部くださいと言われましたのでお渡ししました。酒蔵めぐりや先程紹介ありましたワイナリーとかお客様にとって魅力あるものには集客があるのだなと思っていますので、増田酒造さんとも関わりを持たせていただいてPRできたらということを交渉中です。

事務局

来年1月19日に櫟旅マップを使って、ノルディックウォークの開催を予定しております。ただ歩くだけでなくノルディックで健康キレイ～美しくめぐるてんり～という題でタニタ食堂で食事をしていただき、健康体操とかを行なう予定になっております。櫟旅マップを作成いただいたことで、色々活用させていただいております。

委員

櫟本駅の看板もよろしくお願ひしたいと思ひます。

会長

そちらの方もまたご相談していければと思ひます。

委員

今回初めて参加させていただきました。色んなところでも同じ様に参加させていただいていますが、非常にみなさん議論が熱心だなと思ひました。櫟旅や町カ塾といった部分は地域と学校の連携というのが非常に言われている中で、お互いにwinwinになる形の協働活動として取り組まれている素晴らしい事例だと思ひました。周遊観光についてですが、県の観光局としましても観光の資源を活用しながらやっていきたいと思ひております。市内の方を中心にウォーキングは最近非常に熱心で県のHPの閲覧数は高くなっています。奈良県の観光は奈良公園だけで始まって終わる訳ではありません。県の中部、南部、東部と広範囲に展開していきたいと考えていますので天理市さんとも一緒に頑張らせていただきたいと思ひます。

委員

町カ塾や夢応援プロジェクトに非常に力を入れたいと思ひておりますので、用がありましたら協力させていただきたいと考えています。

委員

在原神社の看板について、皆さま方からお話を伺いながら近畿大学のゼミ生が看板のデザインを提案させていただきました。男性の句と女性の句が見合わせている形でデザインをしております。道標もあり、看板も作成しますので、スマートフォンを使ったゲーム、街づくりのゲームを開発したいという学生がいます。看板、道標にあるQRコードを使ったゲームが上手いければ連携していければと考えております。

委員

在原神社の看板のお披露目ですが、櫛旅の1つのポイントにさせていただき、新しい看板ができたと紹介できたらと考えています。10月28日までには設置完了をする予定です。

会長

最後に一点紹介したいと思います。櫛本のみなさんにも大変お世話になりました、「二階堂家物語」ですが、9月20日に奈良国際映画祭のオープニングの時に実際に映されて、9月29日に市民会館で特別試写会をおこない、来年1月から一般劇場公開となっておりますので、是非櫛本が映っている映画を見ていただければと思います。

それでは本日、夢応援プロジェクト、町カ塾や櫛旅に向けて、今後の櫛本の振興に向けて様々なご意見を賜ったところでございます。また、皆様方のご協力を得ながら進めていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

6. 閉会 -20:00-